

つくる会 FAX 通信

第 110 号 平成 16 年 (2004 年) 4 月 13 日 (火) 送信枚数 1 枚
TEL 03-5800-8552 FAX 03-5804-8682 <http://www.tsukurukai.com>

河村文科相に「近隣諸国条項」削除を申し入れ 教科書改善協 同時に 55 万 6 千 7 百の署名提出

教科書改善協議会（石井公一郎会長）の代表団は、4 月 12 日午後、文科省大臣室に河村建夫大臣を訪ね、この日までに全国から寄せられた 55 万 6 千 7 百の「近隣諸国による干渉から歴史教科書を守るための署名」とともに、去る 3 月 25 日の「これで良いのか、日本の教科書」国民集会の決議を直接手交し、「事実と反する記述、事実を歪曲する記述」の排除、検定の基準・原則は「学習指導要領」にあることの再確認と事実を歪める一切の政治的配慮の撤廃、その根因としての教科書検定基準中の「近隣諸国条項」の削除、の 3 点を申し入れました。

河村文科相は、真剣な表情でこの申し入れを聞くとともに、教科書を良くしていくためにも教育基本法の改正が必要との認識を示しました。

その後、同代表団は、文部科学記者クラブで共同記者会見に臨み、一部のイデオロギーや近隣諸国による強圧によって歪められることのない毅然たる教科書検定の実現について文科省の責任ある対応を求めたことについて説明しました。また、昨夏以来展開してきた全国署名運動から国民集会の開催、そしてこの日の大臣申し入れまでの経緯についても説明しました。記者側からは活発な質問が出され、同会見は 40 分間に及ぶ熱心なものでした。

若手議員の会 大学入試センターの後退に反論相次ぐ

大学入試センター試験問題作成者の氏名公表について、去る 4 月 9 日昼、日本の前途と歴史教育を考える若手議員の会（会長 = 古屋圭司衆院議員）総会に出席した荒川正昭同センター所長は、「新たに任命する問題作成委員については公表する方向で検討するが、現在及び過去の委員については任命時に非公開としているので、その公表は難しい」と述べました。これは 2 月の同総会で「委員の携わった試験終了後に公開する」とした説明から大幅に後退したものです。これに対して出席議員から反論が相次ぎ、インターネット情報をもとに、左翼勢力のファックス攻勢などの圧力により同センターの見解が変節したのではないかと追及しました。しかし、あいにく本会議の開会時刻が迫って時間切れとなったことから、1 週間後の 4 月 16 日に再び総会を開催してこの問題を取り上げることになりました。